

第3回校内研修会を終えて

7月8日(月)に第3回校内研修会が開かれました。今回の研修会では、川原先生の社会科の授業参観・授業整理会、北俊夫先生より「研究授業の講評と授業づくりで大切なこと」という内容の講演会が行われました。

社会科の授業は、中部地方の学習で「なぜ中央高地でレタス栽培がさかんなのだろうか」という学習課題を設定し、中央高地の特色ある産業の特徴を捉えるという内容でした。川原先生の授業では、ジグソー法などの学習形態を用いながら、複数の資料から読み取れた情報をもとに、生徒一人ひとりが学習課題に対する答えを記入している様子がありました。



知識構成型ジグソー法とは...

【参考：東京大学 CoREF ホームページ】

問い(学習課題)の設定

個人思考を行い、問いに対する自分なりの考えを持つ
同じ資料を読み合うグループを作り、その資料に書かれている内容な意味を話し合いグループで理解を深める

= エキスパート活動

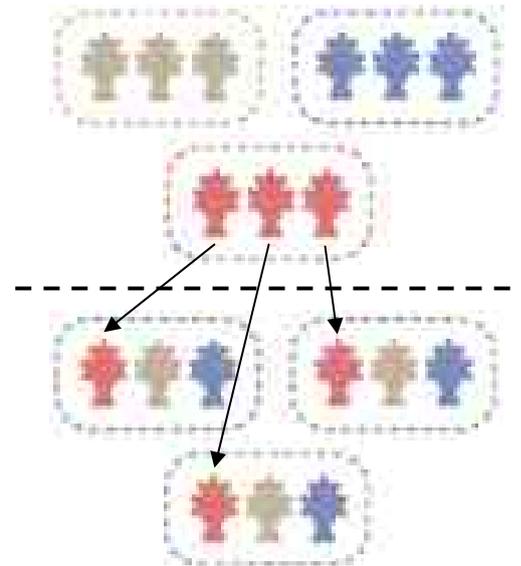
違う資料を読んだ人が一人ずついるグループに組み替え、
先ほどのエキスパート活動で分かった内容を説明し合う。
答えが出たら、その根拠も合わせてクラスで発表する。

= クロストーク

もう一度、個人思考に戻り、はじめに設定した問いに向き合い、自分の意見をまとめる。



同じ資料を読み合うグループ



違う資料を読んだ人が一人ずつのグループ

自分が担当した資料に関しては詳しく理解できるが、読んでいない(グループの友達が担当した)資料に関する理解は深まらない可能性がある。 共通資料・選択資料の組み合わせという方法も...

【学んだことや感想から】

入念な準備のもと、興味を引く導入で生徒も課題の必要性を感じて取り組んでいました。各自が持っている資料を持ち寄ることが課題解決につながるため、全員が必ず参加する仕掛けとなっているところがよいと思いました。



みなさんからのアドバイスや北先生のお話を聞いて、深い学びにしていけるために、予想をさせることやまとめの書かせ方の工夫をいかに大切にしていけるかを改めて感じさせられました。いろんな視点から指導案や授業を見て頂きとても良い経験になりました。

《授業者：川原先生より》

裏面に続きます...

授業改善の取り組み事例の紹介

「研究授業の講評と授業づくりで大切なこと」(北 俊夫 先生)



1 本日の社会科の授業について

【授業づくりのポイント】 単元の全体を見通してから1時間の授業づくりを行う
1時間の授業を作る際、その授業だけを考えてはいけい。単元全体を見通して
(単元の指導評価計画を構成して)から1時間の授業を作ることが重要である。

【授業づくりのポイント】 疑問詞を含めた課題にすること



「レタスの都道府県別生産量のグラフ」

+

「長野県川上村の平均世帯収入」



【学習課題】なぜ中央高地でレタス栽培がさかんなのだろうか
課題を設定したあとに、生徒に予想させてもよかった。
予想させる際は、既習事項を活かしたものになるといい。



例) スーパーを見学しよう

スーパーでは売り上げを上げるためにどのような工夫が
されているのだろうか。

授業の課題・目標(何を学ぶのか)がはっきりとする。

【授業づくりのポイント】 発問・問い返しを取り入れる

・教師の適切な指示 = 生徒の活動を促す

・教師の発問・問い返し = 生徒の思考を促す 学習内容が深まる



2 校内研修会のあり方について

【校内研修会のあり方】 「何を教えるか(内容)」の深まりも大切なことだが、「どう教えるか」
「どう定着させるか」という視点も大切

【校内研修会のあり方】 具体的な指導案をもとに意見を述べること = 授業記録を撮り整理会に臨む

【校内研修会のあり方】 自分の授業をビデオに撮影し、振り返る

【学んだことや感想から】

今回の研修会では授業づくりのポイントについて改めて確認することができました。特にこれからの授業で取り入れていきたいポイントとしては、子どもの答えに対して問い返しの発問を投げかけるといことです。この問い返しの発問を充実させることで子どもたちのさらなる思考を生み出すことができ、より主体的で深い学びになるのではないかと思います。

北先生の「学ぶ教師こそ、教える資格がある」という言葉が心に残りました。より良い社会の担い手になる人間づくり、社会づくりに貢献していきたいと改めて感じるすることができました。

今回の川原先生の授業や北先生の講演会から、授業づくりの際に必要な視点や考え方を学ぶことができました。特に、単元全体や1時間の授業を構成する際、「学習課題をつかむ」「追究する」「まとめる」という問題解決的な流れになっているかを振り返るだけでも、日々の授業内容や指導方法も工夫していけるのではないのでしょうか。北先生の講演会で「学ぶ教師こそ、教える資格がある」という言葉がありました。これからの校内研修会や研究授業を通して、教師側も学ぶ姿勢を大切にしていきたいですね。今回の校内研修会では2学期以降の授業の中で取り入れていきたい授業づくりのポイントを学ぶことができました。